

# 視察報告

5月30日 (月)  
被災地 栄村

視察場所

- 被災現場 (横倉地区農地)
- 仮設住宅
- 被災現場 (中条川 トマトの国)
- 栄村役場



▲栄村仮設住宅の説明を受ける

震度6強にも関わらず軽症者10人の被害となりました。

大きな理由の一つに、普段から地域の中で支え合う連携が取れていたことが、人的被害を小さくすることになりました。近隣・行政等が一人暮らしのお年寄りに声をかけ、避難させることにつながりました。

また一方では、田畑の地盤沈下により農作物に与える影響は大変大きなものと受け止め、今後の取り組みに繋がっていきたいと思いました。

視察に先立ち5月17日に、国へ向け、栄村地震災害対応の要望書を県知事に提出しました。

6月9日 (木)  
浜岡原子力発電所 視察

6月10日 (金)  
静岡県庁 視察

- ①地震防災対策
- ②中小企業の振興・支援策
- ③介護マークの取り組み
- ④静岡地方税滞納整理機構



▲静岡県庁会議室にて地震防災対策の説明を受ける

静岡県では、昭和51年東海地震説が発表になり、対策が最も急がれるとして、大規模な地震がいつ起きても不思議ではないと県庁の別館に災害対策本部施設を常設し、発災初期、県内全域の被害を迅速に把握するためのモニターを各所に配置し、調整や応急対策を実施することとしています。いざというときも慌てないための平常時からのあらゆる状況を想定した訓練を繰り返し行い、行動を体で覚えていくということが最も大切であるとの説明でした。

原子力発電所の存在については様々な議論がある中であって、現在原子力発電を即自然エネルギー発電で全て賄うには現実的ではないと思われました。しかしながら安全・安心のエネルギー政策議論することが今、大切であると思われました。

# 清水じゅんこ 長野県議会だより

創刊号

県民クラブ・公明  
発行責任者 小松千万蔵

長野県庁  
長野市大字南長野字幅下 692-2  
☎026-232-0111 (県庁代表)

## ごあいさつ

暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

皆様の熱いご支援を頂き、県議会に送って頂きました。早いもので4か月近くが経とうとしております。

この間、地域の中を歩きに歩き、たくさんのおみなさんのお声とお知恵を頂き、活動して参りました。初の6月定例議会一般質問では、選挙中からずっと訴えてきた皆様の「大切な命を守る地域医療」と今こそ支援の必要な「発達障害」について質問をさせて頂きました。

これもひとえに皆様の真心とご声援のたまものと心から感謝と御礼を申し上げます。

私がもっとも力を入れて取り組んでいるのが市民相談です。電話やメール、お手紙など様々な形でお寄せ頂いております。私のライフワークでもある、「一人の声を大切に」「生活者目線での現場主義」を貫き、「会います・聞きます・届けます」を原点に一步ずつ成長をさせて頂きます。皆様の「声」が政治の原点であり、エネルギーです。「皆様の声が時代を変える」そう信じ、これからもご意見に耳をすませ、行動して参ります。今後とも暖かなご支援を賜りますよう宜しくお願いを申し上げます。



## 連絡先

このたび御心配頂いておりました、事務所を下記に開設させていただくことになりました。お気軽にお立ち寄りいただき活用して頂ければ幸いです。

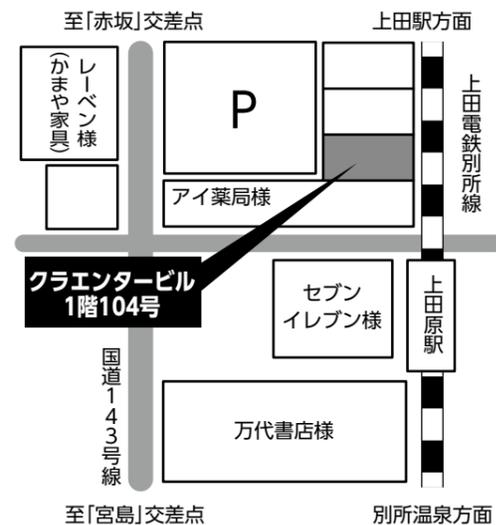
上田電鉄別所線  
「上田原駅」徒歩1分

お車で  
「宮島交差点」より5分  
「赤坂交差点」より3分

所在地 ▶ 〒386-1102 上田市上田原707-3  
クラエンタービル104号

☎ ▶ 0268-75-7279  
F A X ▶ 0268-75-7706

e-mail ▶ shimizu.jyunko@orange.plala.or.jp





# 2011年度6月県議会 初質問

質疑応答の概要の一部を紹介致します。  
紙面の都合上、詳細につきましてはお  
問合せ下さい。

## 地域医療再生計画について

**質問1** 平成21年度からの上小地域医療対策協議会の開催状況と課題について

**回答** 【健康福祉部長】 協議会は県・市町村・医師会・医療機関等により構成、地域医療再生計画の進捗管理・事業内容の変更などを協議。現在まで、平成22年3月と23年3月の2回開催。計画策定から実行に至るまでの間、協議会と同じメンバーにより、検討・調整を何度も重ねている。役割分担と連携体制についての共通認識は十分図られている。いままでの事業は信州大学付属病院からの医師派遣により着実に成果はあがるものの、未だ医師不足の状況にある。医療機関相互のネットワーク構築はシステムの仕様決定に時間を要している。以上が課題である。



**質問2** 人口10万人当たりの産婦人科医数を見ると、上小地域は県内医療圏で2番目に少ない状況。特にハイリスク分娩は他の医療圏に依存せざるを得ない実態があるが、現状と取組は？

**回答** 【健康福祉部長】 上小医療圏の中核病院である（国立病院機構）信州上田医療センターにおいて派遣元大学からの産婦人科医の引き上げにより、平成19年末から分娩を休止。ハイリスク分娩は隣接医療圏に依存する厳しい状況にある。平成21年に県が策定した地域医療再生計画において、上小の医療圏を対象地域と選定、信州上田医療センターを中心とした周産期医療体制の再構築を目標の一つとし、産科医の確保、分娩再開や上田市産院の移転新築など、医療機関相互の役割分担、連携による周産期医療体制の確立に取り組む。



**質問3** 信州大学との連携により研修医・指導医等の確保の取り組みによる、平成25年度における医師確保について

**回答** 【健康福祉部長】 医師確保については、信州上田医療センターと信州大学付属病院との協定に基づく医師派遣などを求め、救急や麻酔科をはじめとする、6診療科で常勤換算で7名の医師が派遣。その結果、信州上田医療センターでは、安定的な医師確保体制の整備が進展しつつある。今後、産婦人科医の招へい、小児科医の増員、常勤麻酔科医の複数確保等に向け取り組みを進めている。

**質問4** 地域医療再生計画が終了する平成26年度からの上小・上伊那地域における再生計画事業を県としてどのように関わっていくのか、見解を伺う。

**回答** 【健康福祉部長】 地域医療再生計画終了後も上小・上伊那のそれぞれの地域において医師確保や、医師の勤務環境改善等の事業に継続して取り組む。例えば、上小地域では関係者間の協定により、26年度以降、信州上田医療センター、上田広域連合および市町村が財政負担を含め、事業の継続に最大限協力するとしている。県として、地域の主体的な取り組みに対し、必要な助言・指導等を行って行きたい。



## 発達障がい者支援について

**質問1** 県下の発達障がい者数の把握について

**回答** 【健康福祉部長】 県教育委員会が平成22年9月に行った調査では、小中学校の児童生徒の2.05%、高校生の0.82%が発達障がいの診断を受けていると報告されている。

その他の年齢層については、現時点では具体的な人数はない。平成22年度末の厚生労働科学研究では、発達障がいの特徴を明確にもつ人が人口の1%であり、ある程度の特徴を持つ人まで含めると人口の16%になると報告されている。



**質問2** 発達障がいの専門医・理学療法士等の支援員が足りないとの声を現場で多く聞くが県内の状況について

**回答** 【健康福祉部長】 専門的な診療は、県立こども病院や信州大学等で取り組んでいるほか、一般医療機関においても概ね各圏域に一か所程度が発達障がいの支援にあたっている。これらの医療機関では、作業療法士や言語聴覚士なども専門的なリハビリを行っている。しかし、受診までに数か月待ったり、リハビリの回数が少ないという、家族からの声も聞く。県として、医師向けの発達障がい診療セミナーを7月に信州大学と開催するなど、発達障がい者支援にあたる医師や各専門職の確保に取り組んでいる。

**質問3** 平等なる教育環境を整える意味からも発達障がい児にとって大変有効とされる「デイジー教科書」等の情報伝達機器の導入推進について

**回答** 発達障がい者の中に読み書きが極端に苦手な人、話し言葉では通じないが、文字や絵を見ることにより内容が伝わるという人もいる。このような方々の苦手を補うものとして、文字と音声パソコン画面上で同時に提示する「デイジー教科書」のような電子機器のほか、絵や記号を印刷したコミュニケーションボードなど、多種多様な情報支援方法がある。県としてこのような状況を踏まえ、今年度、発達障がい者支援対策協議会に検討部会を設置、発達障がい者向けの具体的な情報支援の方法や普及について検討する。

**質問4** 長野県として望ましい支援体制をどのように描いているのか、知事に伺う。

**回答** 【阿部知事】 現状では、医療や福祉、教育、労働等の様々な分野の担当者がそれぞれ支援を行っているが、当事者やご家族には専門性の高い支援や、入学・進学・就職等で途切れず縦割りでない支援を願っている。この願いに応えるためには、現場で当事者と向き合っている保育士や教師などの研修体制の強化が必要。専門的な視点から後方支援を行う発達障がい者支援の専門スタッフの充実が必要。これらの専門的な支援者がライフステージで途切れないよう、しっかり橋渡しをする役割を期待する。県として、「発達障がい者支援のあり方検討会」の検討結果も踏まえ、当事者や家族が安心して継続した支援が受けられる社会の実現に取り組んでいきたい。

